

すばる秋の学校 2018

2018年9月25日(火) – 9月28日(金)

国立天文台ハワイ観測所(すばる望遠鏡)では、天文学の研究者を志す理系の大学学部生を主な対象として、すばる望遠鏡のデータを用いた研究の基礎を学び体験する「すばる秋の学校」を、天文データセンターおよび光赤外研究部と共同で開催します。系外惑星から遠方銀河まで世界最先端の研究に携わるスタッフの指導の元、数名ずつの班に分かれて、観測データから科学的な結果を導く模擬研究を体験していただきます。

場所：国立天文台 東京三鷹キャンパス すばる棟
〒181-8588 東京都三鷹市大沢 2-21-1

定員：13名程度

対象者：天文学の研究者を志す理系の大学学部生や高専専攻科生(物理実験を履修していることが望ましい)。大学院生も受け入れますが、学部生等を優先することがあります。全日程参加が原則です。

受講テーマ (選択制)：

1. 系外惑星コース：「太陽系外惑星の特徴を調べよう」
2. 突発天体コース：「爆発事件の現場はどこだ？」
3. 近傍銀河コース：「銀河を喰らえ」
4. 遠方銀河コース：「遠方銀河の星形成活動とその進化を探る」

費用：国内の旅費・滞在費は国立天文台が負担します。(懇親会は実費)

応募方法：下記ホームページの応募フォームより申込

応募締切：2018年7月25日(水) 正午 (日本時間)

選考結果：8月中旬に応募者にメールで連絡

問い合わせ先：subaru_school_committee [at] optik-ml.mtk.nao.ac.jp

ホームページ：<http://optik2.mtk.nao.ac.jp/school/autumn18/>